

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」

第 12 号



# 学校だより 堂崎つ子

令和 6 年 9 月 2 日  
南島原市立堂崎小学校  
校 長 末吉 優

思いも寄らない台風襲来。迷走台風で通過に時間を要し、風雨の影響が長引きました。農作物の収穫、御家庭の日常生活に影響があったのではないかと心配いたします。

## 二学期始業式(校長の話)より 抜粋

44日という長い夏休みが終わった。夏休みの家での生活から、学校での生活が始まることに対して、気もちの切り替えができていますか。その確認の意味を込めて、もう一度あいさつをしましょう。「おはようございます」 元気のよい挨拶が返ってきた。今から二学期の学校生活の始まりです。

さて、夏休みは、あいさつ、ありがとう、あとしまつ、時間の使い方、掃除や手伝いなど生活習慣を活かして自分の生活をつかってほしいというお願いと、病気や事故などに気を付けて、健康・安全に過ごしてほしいという話をした。どうだったか。

夏休みに頑張って取り組んだ絵や工作・自由研究などの作品が教室や廊下に展示されているが、それらを見るのを楽しみにしている人が多いのではないか。

この夏は、フランス・パリでオリンピックが開催された。また、障害をもつ人たちによるパラリンピックが現在行われている。努力を重ね、自分の限界に挑戦する姿はたいへん素晴らしく、世界中の人々に感動を与えた。児童の皆さんは、どんなことを感じたでしょうか。



すでに始まった2学期、「あいさつ・ありがとう・あとしまつ」についてはもちろんですが、これらに加え、特に実践してほしいことを 2つ話します。

① 2学期は、運動会、芋掘り・持久走大会・お芋タイム、5年宿泊体験学習、6年修学旅行などのたくさんの行事が予定されている。行事を通して、自分を鍛えてほしいと考える。大切なことは、行事そのものだけでなく、どのようにして準備や練習、努力を行うのか、また、行事を終えて、どのように自分が変わるのか、振り返りながら、自分の成長を実感してほしいと思う。

② 堂崎小学校の良さは、何と言っても、学年を超えた地域の関わり、縦割り活動だと考える。芋植え・草取り、折り鶴作り、集団登下校などにおいて上級生から下級生(1・2年生)への教えは、どこの学校にもないものである。それらの中でも、特に、登校中の安全な歩き方や地域の方々へのあいさつなど、手本を示し、先輩から後輩へ確実に伝えてほしい。上級生の力・地域の先輩の力はとてつもなく大きい。

結びに、夏休みの生活など自分でつくった経験を、2学期からのみんなで作る楽しい学校生活につなげ、活かしてほしい。自分で考え、実践する2学期にしていこう。



< ← 収穫したスイカをほおぼる2年生 >

< 学級園で収穫したカボチャ → >



## PTA親子奉仕作業 8月25日(日) 御協力ありがとうございました

残暑厳しい中、多くの保護者・児童の協力をいただき、親子奉仕作業(除草作業及び窓の清掃活動)を行いました。時折の雨や猛暑により、雑草・樹木等の成長には驚きます。清掃時間、職員・児童による除草だけでは、作業が追いつかず、みなさんの力をお借りせざるを得ませんでした。運動場等の草取りに加え、樹木等の枝の伐採・剪定、溝の泥上げなど、御苦勞をおかけしました。

大人の作業をする姿を見て、子供たちは、自分たちが大人になったとき、「培った奉仕の心」を忘れず、地域や母校等の環境整備に関わりをもっていくのだらうと思った次第です。改めて感謝申し上げます。

翌日は、渡部眞吾様、末吉健一様の協力をいただき、軽トラック3台分を市衛生センターへ搬入しました。ご自分の仕事の合間を見て、時間を割いていただきました。ありがとうございました。

おかげさまで、子供たちも気持ちよく2学期を迎えることができると思います。



## 子供・ドライバーの安全のため、通学路が色覚的に強調 !!



<グリーンベルト>

<「速度おとせ」の表示>

<交差点直前「止まれ」>

グリーンベルトは、歩道のない道路の路側帯を緑色にすることでドライバーに通学路を認識させ、車道を狭く見せ、車両の速度を抑制させるそうです。車両と歩行者との接触事故を防ぐことを目的として、設置されました。

子供たちは当然、安全な通学路として、そして地域の住民の方も、グリーンベルトを通ります。ところが、このグリーンベルトの上に、車両が駐車していることがあります。そのような場合、通学中の子供たちは、駐車車両を迂回する形で車道の部分を歩くことがあります。目線の低い子供たちには駐車車両の車体により、前方の見通しが利かないこともあり、危ない状態が生じます。

一方、交差点に塗装された「赤」は警告色や禁止色でもあるため、徐行や減速を促したり、前方に注意すべき場所があることを知らせたりする目的があるようです。出会い頭の事故防止のため、「止まれ」の表示を視覚的に強調し、工夫されています。これからも、交通安全に努めて参りましょう。